

新小山市市民病院ニュースレター Shin-oyama City Hospital News letter No.8

<http://www.hospital-oyama.jp/>

〒323-0028 栃木県小山市若木町1-1-5 ☎0285-21-3800 (代表)

病院長挨拶

☆本院における「総合診療専門医研修」☆

現在、専門医制度が大きく変わろうとしています。特に、内科専門医は、内科認定医が廃止され、初期研修終了後3年間の研修プログラムを経て専門医(総合内科専門医)となるコースのみになるようです。2階部分の循環器専門医などは、この内科専門医取得が条件になります。また1階部分の18基本領域に新たに「総合診療専門医」が加わります。大学の先生の話によると、初期研修後3年間の専門医研修プログラムは研修病院群を形成することが重要になるようで、関連病院との連携を一層緊密にするということです。さて、新小山市市民病院は、自治医科大学から総合診療部の教員が新おやま市民病院地域医療教育センターに赴任していることもあり、病院独自に総合診療専門医を取得する研修プログラムを作成し、国の平成26年度専門医養成プログラム作成支援事業に採択されました。対象は初期臨床研修終了者で、研修期間は3年間。本院の内科系診療科(循環器、神経、呼吸器、内分泌代謝、腎臓)に6か月、小児科に3か月、救急科に3か月所属し、地域の2次中核病院における内科系コモンディーズの病棟・外来診療を研修します。救急科については、一定期間の救命救急センター(自治医大など)での研修を含めます。さらに6か月間、総合診療に関連ある外科、婦人科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科などから本院の各診療科2-3科を2-3か月毎にローテートします。総合診療に関する専門研修(18か月)は、本院の総合診療科に所属して、総合診療の指導教員2名のもとで研修します。18か月の期間内に、本院地域包括ケア病棟研修(6か月:多様な疾患の急性期後の医療やリハビリ、予防や退院調整など多職種チーム医療を経験し研修)、診療所・中小病院研修(6か月:地域において在宅医療を提供している医療機関において、在宅診療を経験し研修、地域において療養や介護ケアを提供している本院の地域医療連携医療期間において、慢性期医療・介護を研修)を行います。以上の研修コースの順番は、個人の特性に合わせて選択します。



今後益々、新小山市市民病院は各科の専門研修や初期研修に力を入れていきます。

平成27年3月

新小山市市民病院 理事長・病院長 島田和幸

主なトピックス

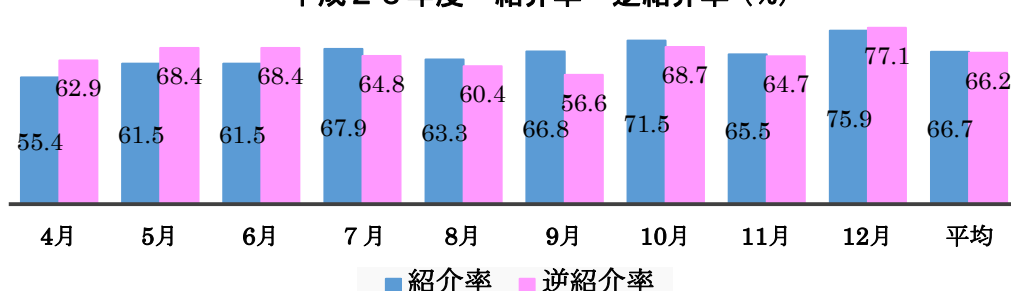
紹介率・逆紹介率 目標達成！

この度、「地域医療支援病院」の承認要件のひとつであります紹介率・逆紹介率が目標を達成しました。地域の先生方には、医療連携に関しまして日頃よりご支援・ご協力いただき、まことにありがとうございます。

この一年、逆紹介に力を入れるように病院の方針として取り組んでまいりました。これにより、紹介率・逆紹介率ともに上昇することができ、「地域医療支援病院」の承認に向け準備が整いました。今後益々、地域の先生方との連携を強化していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

医療連携相談室 室長 山中涼子

平成26年度 紹介率・逆紹介率 (%)



ポットラックカンファレンス これまでを振り返って…

新小山市市民病院では2ヶ月に1回ポットラックカンファレンスを開催しています。医師会の先生方や市民病院スタッフなど多くの関係者がテーブルを囲み、気になった症例や皆とシェアしたい経験などを持ち寄り、自由にディスカッションする場になっています。これまでに4回開催され、むくみ、失神、体重減少、感冒症状などの普段よく経験する症状に対するアプローチの仕方や、基本的な身体診察の深い意義など、日頃先生方がどのように考え実践しているかを様々な立場からお話いただいています。

「後医は名医」とよく言われますが、診断がついた後に振り返って考えると当たり前のように見えることでも、症状の始まるの時点で考えつくのは実際には容易でないことはよく経験します。患者さんが最初に訪れるクリニックの先生方と、その後の経過を見ることが多い病院医師が席を同じくして検討することは、症例の全体像を理解するうえで貴重な体験となっています。またそれを通じて、基本に忠実に問診と身体診察を実践する姿勢がいかに重要かということを実感させられています。

平成27年度もポットラックカンファレンスは継続されます。気軽に話せて次の日からの診療に役立つ何かを持って帰ることができる、そんなカンファレンスになるように事務局として心がけています。ぜひご参加くださいますようよろしくお願いいたします。



ポットラックカンファレンス事務局
熊田真樹、小松憲一
新小山市市民病院 総合診療科
email:komaken@jichi.ac.jp



新任医師からのご挨拶

☆1月1日より新しい先生方が着任されました☆



小児科 医員

横溝 亜希子



1月から着任いたしました 横溝 亜希子 と申します。

自治医科大学小児科より新小山市市民病院へと派遣されてまいりました。

まだまだ未熟であり、日々勉強の毎日ではありますが、小山地区医師会の先生方には、子ども達を診療いただき、ご紹介下さいまして、私自身たくさんの事を学ばせていただいております。

微力ではございますが、少しでもお力添えができるよう、努力を続けたいと思います。子どもたちが元気な毎日を過ごせるように、精一杯努めてきたいと思っています。

至らない点も多々ございますが、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



※ 来月4月から、アレルギー・膠原病専門医、整形外科医、小児科医、救急部兼循環器内科医の新たな医師の増員配置を予定しております。次号でご紹介させていただきますのでよろしくお願い致します。



MSWの紹介

私たち、患者支援センター 入退院支援室のMSW（Medical Social Worker）は、「チーム医療を推進し、地域の皆様から信頼され必要とされる病院を目指す」の病院理念の基、地域や家庭において自立した生活を送ることができるよう、社会福祉の立場から、患者さんやそのご家族の抱える心理的・社会的な問題の解決・調整・相談を援助し、社会復帰の促進を図るために関係機関との連携調整などを行っています。

MSW は現在 4 名で、診療科ごとに担当を決め活動しています。

主な業務内容としては以下の通りです。

- 退院支援の必要な患者の把握(退院支援スクリーニング用紙を活用)
- 退院支援計画書の作成
- 患者・家族と面談後、計画の変更
- 在宅医療や訪問看護に向けての連絡調整
- 適切な医療機関や福祉施設などの紹介と連絡調整
- 介護保険や介護サービス、福祉等について、患者・家族に情報提供
- 他医療機関や福祉施設等との連絡調整
- 外部のケアマネジャーを含む多職種との連携
- 患者・家族へのムンテラに同席
- 多職種を交えての退院時拡大カンファレンスに出席
- 入院患者の様々な相談に対応(経済的問題・社会資源の活用・がん相談等)
- 患者サポートカンファレンスに出席(週 1 回開催)



私たち MSW は、連携及び調整その他の援助等の介入をすることによって、少しでも医療と患者さん・ご家族の橋渡しの役割を果たせたらと考えています。

患者さんやご家族は入院することで様々な問題に直面します。患者さんの求める医療は体の治療だけではありません。そのため、入院時から関わりがもてるように院内で退院支援スクリーニングシートを作成・活用し、退院支援必要項目(年齢や独居など)に該当になった患者さんを把握をし、早期に介入ができるように努めています。

また、ケースによっては関係機関(ケアマネジャー、入所していた施設、入院していた病院、生活保護担当者等)に連絡を入れるなど連携を図り、情報交換、情報の共有をしています。

入院患者さんに関しては、医師、看護師、リハビリスタッフを含め、定期的にカンファレンスを行い、病状や今後の方向性、病棟での様子などを話し合い情報の共有を図っています。

様々な問題に対して、傾聴、共感、受容の姿勢を心がけ、患者さんやご家族の気持ちに寄り合い、一緒に解決の糸口などを探すことをさせていただいています。

今後も患者さん・ご家族が安心して入院生活が送れるように、MSW として患者さん・ご家族の抱えている問題や不安に向き合い支援していきます。また、多職種との連携を深め、より良い退院支援、円滑な退院支援に努めてまいりますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



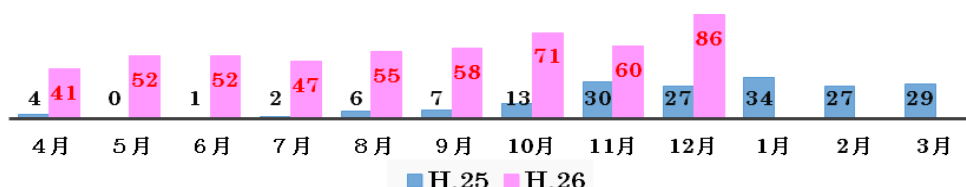
医療連携相談室からのお知らせ

● 緊急時の患者紹介について

開業医の先生方から緊急で患者さんのご紹介を受ける場合、医療連携相談室スタッフが対応し、診療科毎に当番医を決めておくなどして、スムーズに受け入れるよう取り組んでまいりました。平成 25・26 年度に連携室を通して受け入れた件数を比較しました。かなりの件数が増加しておりますが、時折スムーズに行かないこともあり、多々ご迷惑をおかけしていることと思います。緊急患者さんのご紹介については、直接連携室に電話をいただきたいのですが、代表番号で受けた場合でもスムーズに行くよう、院内フローを作成し取り組んでおります。

緊急患者紹介（連携室 TEL：0285-21-3849）

他医療機関からの緊急患者紹介



● 連携医療機関からの検査依頼について

当院では、下記に示す検査を、開業医の先生方から依頼を受け実施しております。予約受付の場所が検査により異なりますので、予約場所を再度ご案内いたします。

- ◆ 医療連携相談室で予約 ・胃カメラ ・超音波（心 腹部）

（医療連携相談室 TEL：0285-21-3849）

- ◆ 放射線科で予約 ・MRI ・CT ・骨密度

（放射線科 TEL：0285-21-3822）

検査項目	実施曜日	実施時間
CT 検査	月 水 木	9：00 ～ 16：00 随時
	火 金	9：00 ～ 12：00 随時
MRI 検査	月	14：00 ～ 15：00 4 枠
	火	10：20 ～ 11：20 4 枠
	月 火 木 金	16：40 ～ 1 枠
X 線骨密度	月 ～ 金	9：00 ～ 16：00 随時

● 紹介患者さんの受診予約について

当院では、開業医の先生方とおして内科・神経内科（含 もの忘れ外来）・循環器内科の受診予約を受け付けております。予約をされた患者さんは待ち時間を少なくし、最優先で診察いたします。紹介状を書かれた際は、是非、予約専用ダイヤルにお電話ください。また神経内科では、毎週水曜日の午前、「もの忘れ外来」を行っています。こちらも是非、予約の電話をお待ちしております。

（予約専用 TEL：0285-21-3871）

患者支援センター 医療連携相談室 山中 涼子

医療連携相談室（受付時間 平日 8：30 ～ 17：15）

医療連携に関する業務

- ① 紹介患者さんに関する事務
- ② 地域の医療機関からの紹介患者さんの診察や検査予約の受付
- ③ 地域医療機関訪問
- ④ 「新小山市民病院診療科案内」などの作成と発送

患者さん・御家族に関する相談業務

- ① 適切な医療機関や福祉施設などの紹介
- ② 在宅医療や訪問看護に向けての調整
- ③ 医療費などの経済的問題の相談
- ④ 介護保険や身体障害者手帳などの制度の紹介や利用の相談 など



TEL 0285-21-3849 FAX 0285-21-3896

メール renkei@hospital.oyama.tochigi.jp ※メールでも受付しております。